

令和4年度 経営発達支援計画に係る事業評価

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 の取組み状況

1 地域の経済動向調査に関すること

(1) 実施状況		令和4年度			令和5年度
No.	項目	目標値	実績値	達成率	目標値
①	地域の経済動向分析の公表回数	1	1	100.0%	1
②	景気動向分析の公表回数	4	4	100.0%	4
達成率の平均値				100.0%	

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

1) 評価： B (前回 C)

2) 見直しの必要性等を含めた評価総評

①原油・原材料価格高騰に関するアンケート調査を行ったが、経済動向全般についての設問も設け、地域経済の実態を分析。

②令和4年度後半から、年間4回行っている中小企業景況調査の結果をHPにて開示している。ただし、12事業者とサンプルが少なく、結果にブレが生じやすいため、巡回等で収集した情報も加味しているが、さらに精度を高める必要はある。

2 需要動向調査に関すること

(1) 実施状況		令和4年度			令和5年度
No.	項目	目標値	実績値	達成率	目標値
①	新商品開発の調査対象事業者	3	10	333.3%	5
	(うち 伝統的工芸品関連事業者数)	—	5	—	—
②	アンケート調査対象事業者	10	10	100.0%	10
	(うち 伝統的工芸品関連事業者数)	—	4	—	—
達成率の平均値				153.8%	

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

1) 評価： A (前回 B)

2) 見直しの必要性等を含めた評価総評

①引き続き、支援を行っていく。

県内と都内で支援した展示会に加え、県連合会の販路開拓売上拡大推進事業に4事業者が参加し、複数のバイヤー及び消費者から意見を収集・分析した。

②引き続き、支援を行っていく。

「あいぱーく今立」展示コーナーに設置してあるアンケートの回答内容、県内と都内で支援した展示会での調査を集計・分析し、得られた結果を対象の事業者にフィードバックした。

3 経営状況の分析に関すること

(1) 実施状況		令和4年度			令和5年度
No.	項目	目標値	実績値	達成率	目標値
①	経営分析に関するセミナー開催件数	1	2	200.0%	1
②	経営分析件数	40	60	150.0%	40
達成率の平均値				151.2%	

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

1) 評価： A (前回 A)

2) 見直しの必要性等を含めた評価総評

①引き続き、経営環境に合わせたテーマを選択しながら実施していく。

②令和4年度は、新型コロナの影響に加え、原油・原材料価格の高騰が顕著になったため、一段と巡回を強化し、実態調査や経営状況のヒアリング、各種支援策の説明を行った。また、国・県・市のコロナ及び原油・原材料価格対策に関する補助金等の支援策が充実している状況にあって、年度後半にかけてコロナ感染状況が落ち着きを取り戻し始めたことも、経営改善に取り組む意欲の向上につながったと考えられる。

4 事業計画策定支援に関すること

(1) 実施状況		令和4年度			令和5年度
No.	項目	目標値	実績値	達成率	目標値
①	事業計画策定総件数	20	56	280.0%	20
②	(うち 伝統的工芸品関連事業者数)	5	10	200.0%	5
③	(うち 事業承継計画策定件数)	3	4	133.3%	5
達成率の平均値				250.0%	

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

1) 評価： A (前回 A)

2) 見直しの必要性等を含めた評価総評

①②③とも、引き続き、支援を行っていく。

大幅に目標を上回った主な要因としては、上述したとおり、原油・原材料価格が高騰したため、一段と巡回を強化し、実態調査や経営状況のヒアリング、各種支援策の説明を行った。加えて、支援策が充実していたことで、事業計画を策定する動機付けになったことが大きい。

さらに、巡回や窓口での相談にて、実態を幅広く、きめ細かく把握した結果、各事業者のニーズに合った経営改善の提案につながったと考える。

5 事業計画策定後の実施支援に関すること

(1) 実施状況		令和4年度			令和5年度
No.	項目	目標値	実績値	達成率	目標値
①	フォローアップ対象事業者数	30	38	126.7%	30
②	頻度(延べ回数)	90	132	146.7%	90
③	売上増加事業者数	7	12	171.4%	10
④	利益率5%以上増加の事業者数	7	10	142.9%	10
達成率の平均値				143.3%	

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

- 1) 評価： A (前回 A)
- 2) 見直しの必要性等を含めた評価総評
 - ①②引き続き、目標が達成できるよう支援を行っていく。

6 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(1) 実施状況		令和4年度			令和5年度
No.	項目	目標値	実績値	達成率	目標値
①	大都市圏の展示商談会出展支援	8	10	125.0%	10
	上記の商談件数	80	337	421.3%	100
②	商工会のHP作成サービスの活用による新規顧客獲得件数	3	1	33.3%	3
③	えちぜんモノづくりNETの活用によるビジネスマッチング件数	2	1	50.0%	3
④	プレスリリース支援件数	2	0	0.0%	3
⑤	商工会のHP等を活用したPR強化支援事業者数	10	26	260.0%	15
達成率の平均値				357.1%	

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

- 1) 評価： A (前回 C)
- 2) 見直しの必要性等を含めた評価総評
 - ①商工会として「東京ギフトショー」に展示するにあたり、事前準備面での支援をしっかりと行い出展したこともあり、目標を大幅に上回る実績につながった。
 - ②商工会のHP作成サービスである「Goope」の作成は3件あったが、作成したHPによる顧客獲得件数の全てを把握することは困難であり、各種相談の際に聴き取りできた数値のみを計上。
 - ③ビジネスマッチングについて相談があった事業者に「えちぜんモノづくりNET」の活用を紹介したところ、1件が共同開発の取引につながった。他にも活用事例がある可能性はあるが、事業者自らが同サイトを活用してビジネスマッチングを行っている事業者(成約件数)を全て把握をすることは困難である。

- ④これまで商工会がプレスリリースを支援した事業者数は数十件あるが、昨年度は新たな相談がなかった。今後は、新商品・新サービスの開発等で相談を受けた際には、事業者側からの依頼がなくても、プレスリリースを提案・支援するようにしていく。
- ⑤小規模事業者の事業内容や商品をPRするプロモーション映像を26事業者分作成・商工会HPに掲載している。

7 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

(1) 実施状況		令和4年度	令和5年度
No.	項目	目標値	
①	事業評価委員会の開催	B	(ほぼ計画通りの取組みを実施)
②	正副会長会議への報告・方針決定	B	(ほぼ計画通りの取組みを実施)
③	理事会への報告	B	(ほぼ計画通りの取組みを実施)
④	ホームページへの掲載	B	(ほぼ計画通りの取組みを実施)
⑤	PDCAの実施	B	(ほぼ計画通りの取組みを実施)

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

- 1) 評価： B (前回 E)
- 2) 見直しの必要性等を含めた評価総評
①～⑤ほぼ計画通りに実施したが、さらに計画以上の取組みとなることを目指し、実施していく。

8 経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 実施状況		令和4年度	令和5年度
No.	項目	目標値	
①	外部講習会等の積極的活用	A	(計画通りの取組みを実施)
②	OJT制度の導入	A	(計画通りの取組みを実施)
③	職員間の定期ミーティングの開催	A	(計画通りの取組みを実施)

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

- 1) 評価： A (前回 A)
- 2) 見直しの必要性等を含めた評価総評
①職員の資質向上等について、県連合会や中小企業大学校等で開催される各種研修の受講を計画通り実施している。
②特に伴走型小規模事業者支援推進事業については、計画的に役割分担を代えて、やや上の水準の業務を担当させることで経験を積ませている。
③週1回、経営指導員等で経営指導会議を開催し、研修内容や支援課題の共有化、伴走型の支援能力の向上を図っているほか、記帳専任職員を含む経営支援員についても、同様に毎週、経営支援会議を開催し、情報の共有化や業務の平準化を図っている。

9 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換

(1) 実施状況		令和4年度	令和5年度
No.	項目	目標値	
	他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	A	(計画通りの取組みを実施)
①	県商工会連合会・県内商工会 年4回以上	7	(計画通りの取組みを実施)
②	武生商工会議所 年3回以上	6	(計画通りの取組みを実施)
③	日本政策金融公庫 年3回以上	10	(計画通りの取組みを実施)
④	ふくい産業支援センター 年3回以上	5	(計画通りの取組みを実施)
⑤	管内金融機関 月1回以上	1	(計画通りの取組みを実施)

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

1) 評価： A

2) 見直しの必要性等を含めた評価総評

①引き続き、他の支援機関との連携に関しては、越前市、県商工会連合会・県内商工会、武生商工会議所、日本政策金融公庫、ふくい産業支援センター、管内金融機関との連携により、小規模事業者に有効な施策を提案していく。

10 地域経済の活性化に資する取組みに関する事

(1) 実施状況		令和4年度	令和5年度
No.	項目	目標値	
①	地域の関係者との連携による地域活性化策の検討	C	(目標の半分程度の取組みに終わった)
②	越前市商工会開催のイベント「商工会マルシェ」での新たな取組み	D	(目標をほとんど達成できなかった)
③	会場でのPR及び情報収集	D	(目標をほとんど達成できなかった)
④	伝統的工芸品関連産業の振興	B	(ほぼ計画通りの取組みを実施)
⑤	伝統的工芸品を活用した観光の推進	B	(ほぼ計画通りの取組みを実施)

(2) 実施状況を踏まえた評価と見直し

1) 評価： C (前回 D)

2) 見直しの必要性等を含めた評価総評

①商工会組織にも地域ごとに支部を置き、イベントを始め各地域の主要な事業に参画しているが、十分な活性化になっているとはいえ、議論及び改善の余地はある。

②「商工会マルシェ」が中止となったため、事前の実行委員会での協議及び実務担当者間の打合せに終わった。

③「商工会マルシェ」が中止となったため、実施しなかった。

④⑤「商工会マルシェ」は実施しなかったものの、「東京ギフトショー」を始め、武生商工会議所・越前市と共同開催の「越前モノづくりフェスタ2022」、県連合会と共同開催の「ふくい商工会マルシェ2022」といった大規模展示イベントは実施し、県内外にて大きなPR効果が得られた。

また、個社別に事業計画策定支援、補助金等申請支援は目標を上回る件数実施したほか、過去に事業者の技術・商品をPRするプロモーション映像とPR冊子の制作を行っている。これらの映像と冊子は、各事業所で自社ホームページに掲載、店頭を設置するなどして情報発信している。加えて、商工会のホームページに掲載したほか、You Tubeにも公開している。

さらに、越前市の複合施設「あいぱーく今立」の公共スペースや越前市観光協会など市内数カ所の公共施設等でも映像の放映と冊子の設置を行っており、事業者の知名度の向上を図るためのPRを行った。

これらPRを行っている事業者には、伝統的工芸品関連の事業者が多い。